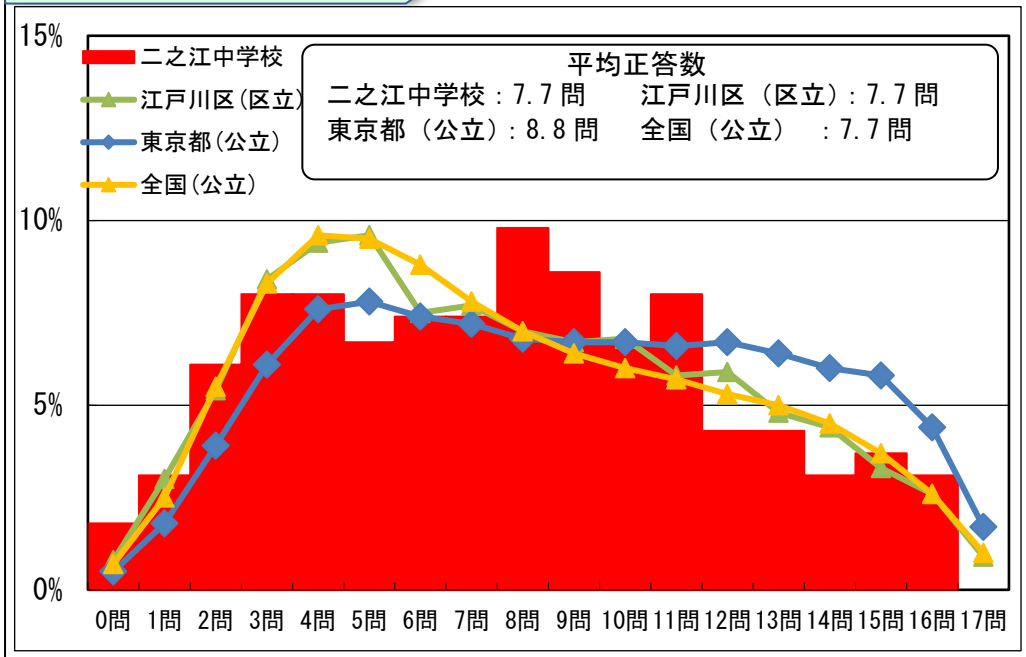
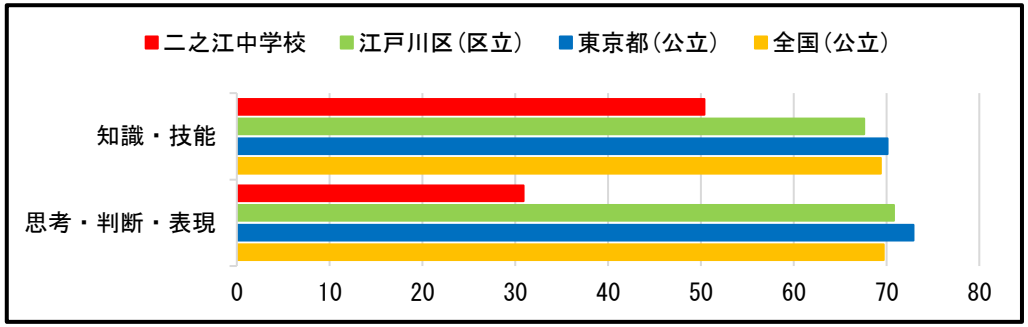
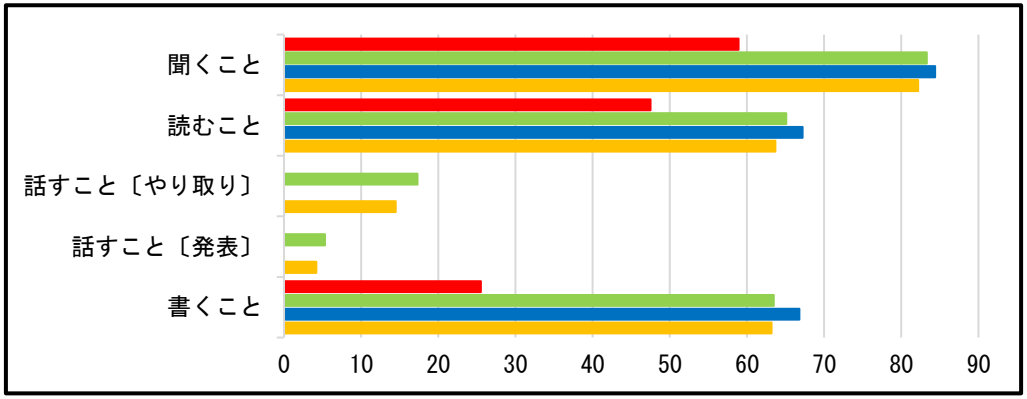
令和5年度　全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【英語】二之江中学校

正　答　数　分　布



「領域別」の結果





＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

上位 ←→ 下位

英　語	A層 12～17 問	B層 9～11 問	C層 5～8 問	D層 0～4 問
二之江中学校	18.5	23.3	31.3	27.0
江戸川区（区立）	21.9	19.3	31.8	27.0
東京都（公立）	31.0	20.0	29.2	19.8
全国（公立）	22.1	18.1	33.1	26.7

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

【平均正答率の差】

二之江中学校	45%
江戸川区（区立）	45%
東京都（公立）	52%
全国（公立）	45.6%
都との差	-7 ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

平均正答率は、江戸川区と同率ではあるが、東京都より大きく下回る結果となった。この要因としては、授業で理解してきたことが、うまく自分の力として会得したものではなかったため、応用できなかったというところにある。
今後は、生徒の意見などを英語で「聞く」「書く」「話す」活動を増やすことが必要だと考える。授業では、ペアワークや発表の機会を増やし、生徒が英語をアウトプットする活動を増やしていく。また、これまでの学習を振り返ること取組も増やしていく。